

# 平成 28 年度 医療安全管理部 包括的公表

医療安全管理部  
医療安全管理室

海南病院では医療安全対策に関する事案の包括的公表を行っています。

## 1. 目的

: 患者の知る権利を保障し医療の透明性を確保するため、更に職員に医療安全の意識の向上と事故の再発防止に役立てることを目的とする。

## 2. 対象

: 報告の対象となるものは、患者の生死にかかわる極めて重大なものに限らず、院内で発生したすべてのインシデント・アクシデント、予期しない薬剤などによる重大な副作用や、広く社会に警笛を鳴らす意義が大きいと考えられる報告もその対象としている。

## 3. 医療安全報告レベル基準

区分	内 容
レベル 0	エラーや医薬品・医療用具の不具合がみられたが、患者さんには実施されなかった。
レベル 1	患者さんへの実害はなかった。(何らかの影響を与えた可能性は否定できない)
レベル 2	処置や治療は行なわなかった。(患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査等の必要性が生じた)
レベル 3 a	簡単な処置や治療を要した (消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)
レベル 3 b	濃厚な処置や治療を要した。(バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長)
レベル 4	永続的な障害や後遺症が残った。
レベル 5	死亡 (原疾患の自然経過によるものは除く)

## 4. 公表基準及び内容

: 医療安全公表基準は、国立病院機構で使用している患者の影響度のグレード分類にしたがって報告者の評価によるレベル区分、レベル 0 からレベル 3 b までは包括的な資料として、発生件数及び医療安全対策委員会で検討した内容及び改善策・処置などを包括的公表とする

: レベル 4、5 の公表に関しては、発生の原因や予防対策について事例調査検証部会確認にて検討審議し、患者あるいはその家族等の同意及び医療関係者の同意を得て、病院長の決定により公表する。

但し、患者及び家族の同意が得られない場合は原則公表しない。

(公表基準に基づき、平成 28 年度集計結果を公表。)

### 1) 平成 28 年度 医療安全報告件数

区分	レベル 0	レベル 1	レベル 2	レベル 3 a	レベル 3 b	レベル 4	レベル 5
報告件数	3924 件					0 件	

誤った医療の実施の有無

平成 28 年度

項目	誤った医療の実施の有無			実施あり	合計	構成比	
	実施なし						
	影響度						
	当該事例の内容が仮に実施された場合						
	死亡もしくは重篤	濃厚な処置・治療	軽微な処置・治療または不要				
薬剤関連	0	0	174	776	950	24.2%	
輸血関連	0	0	15	5	20	0.5%	
治療・処置	0	2	83	99	184	4.7%	
医療用具	0	0	96	65	161	4.1%	
ドレーン・チューブ	0	8	904	84	996	25.4%	
検査関連	0	0	191	88	279	7.1%	
療養上関連	0	15	1066	59	1140	29.1%	
その他	物品搬送	0	0	0	0	0	0.0%
	放射線管理	0	0	0	0	0	0.0%
	診療情報管理	0	0	144	1	145	3.7%
	患者家族の説明	0	0	41	1	42	1.0%
	施設・設備	0	0	5	0	5	0.2%
	その他	0	0	2	0	2	0.1%
合計	0	25	2721	1178	3924	100%	
当院比	0.0%	0.6%	69.4%	30.0%	100.0%		

5. まとめ

平成 28 年度医療安全報告件数において、報告レベル 0～3 が 3,883 件で、3 b 41 件、レベル 4.5 は 0 件と平成 27 年の 4 件数より減少した。レベル 3 b 以上の事案全例については、医療安全専門小委員会及び医療安全対策委員会にて検討審議し、再発防止策及び改善を講じた。